



当事者意識をもって考える ふれあい月間

生活指導主任

ある日の授業中の出来事です。

一人の男の子が、私の質問に対して手を挙げようかどうしようかしばらく迷っていました。その様子に気が付いた近くの男の子が、『まちがってもいいんだよ』と、声をかけてくれたのです。すると、迷っていた男の子はすっと手を挙げて、自分の考えをしっかりと発表することができました。

たった一つの言葉ですが、優しく温かい言葉に大きな力を感じて感動しました。また、この言葉が出るクラスの雰囲気も素敵だなと感心しました。

6月のふれあい(いじめ防止強化)月間では、相手の気持ちを考えた温かい言葉【ほかほか言葉】を集める取り組みを学校全体で行いました。相手を思いやる言葉を掛け合うことは、いじめの未然防止につながります。友達に掛けてもらってうれしかった言葉を付箋に書き、模造紙に貼る活動をしました。大きな模造紙2枚に渡ってたくさんの言葉が集まったクラスもあり、毎日の振り返りを積み重ねることで温かい言葉を使おうとする雰囲気が広がりました。

11月のふれあい月間では、一小の最高学年である6年生が考えた「いじめ防止の取組」を学校全体で行います。いじめに関する動画を作成し、スタンプラリーやゲーム形式で考えるものや、新聞やポスターを作成し、すごろくカードで毎日振り返りをするなどの内容になっています。

このような全校での取組を通して、いじめを自分事として捉え、いじめが許されない、いじめのない学校づくりに参画できる児童の育成を目指します。

本校では、4月の保護者会でお伝えした「学校いじめ防止基本方針」に則り、全職員一丸となっていじめ問題に対応してまいります。ご家庭におかれましても、インターネット上やメールなど、大人の目に付きにくい場所や形で行われるいじめもあることにご留意いただき、学校と家庭・地域が連携したいじめ防止の指導にご協力をお願いいたします。



【運動会】



～低学年～

「オーレの魂(こころ)ひゆるりらサンバ」では、「マツケンサンバ」「ひゆるりらぱっぱ」の2曲に合わせて、きらきらポンポンボタンを使った表現に取り組みました。子供たちは、リズムカルな曲調を楽しみながら、練習してきました。保護者の皆さまに観ていただき、どの子も嬉しそうでした。参観いただき、ありがとうございました。

～中学年～

「The First Shot ～先生、ダンスがしたいです～」では、漫画「SLAM DUNK」をモチーフに構成を考えました。「第ゼロ感」は、非常にアップテンポの曲で、最初にお手本動画を見た子供たちは、「上手に踊れるかな」と不安になっていました。しかし、練習を積み重ねることで、上達していく姿から「できる！」という感覚を子供も大人ももつことができました。本番では、試合を楽しみ・活躍する選手のような素晴らしい姿をお見せできたのではないのでしょうか。

～高学年～

5・6年生は、「唯一無二～響け輝け全力で～」をスローガンに、練習に励んできました。このスローガンには、「今までにないものを魅せたい」という子どもたちの想いが込められています。今年は、組体操と南中ソーランを組み合わせました。そして最後のフィナーレは、6年生の実行委員が中心になって考え、観ている人が楽しめるようにパレードをイメージして創り上げました。技がそろったときの一体感、校庭に響くかけ声、全力で演技をする高学年の姿を魅せられたのではないかと思います。

